

KUISs 学修ベンチマーク

(2025年4月改正)

項目	項目の説明	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	具体的に実践する場面例	エビデンスの例
(1) 自律的で主体的な態度 (自律性)	自分の目標を持ち、その実現のために、自らを律しつつ意欲的に行動することができる	自ら目標を持ち、主体的に計画・実行・確認を繰り返す、経験を生かしながら新たな課題に挑戦することができる	自ら目標を持ち、主体的に計画を立て、進行状況や目標の達成状況を確認しながら実行することができる	やらなければならないことを、計画を立てて最後までやり遂げることができる	やらなければならないことを、決められた期日までにやり遂げることができる	日々の学習計画をふりかえるとき ・実習で課題に取り組むとき ・学園祭など、大きなイベント ・リフレクション・デイで半年ごとにふりかえるとき など	・ラーニングルートマップ ・スケジュール ・学修ポートフォリオ「ベンチマーク・成長確認シート」 ・学修ポートフォリオ記事 (自律的で主体的な経験)
(2) 社会に能動的に貢献する姿勢 (社会的貢献性)	集団や社会のために他者とともに行動し、貢献することができる	他者と協働しながら、集団や社会への貢献に、より多くの人々が参画できるように展開することができる	他者に協力を呼び掛けながら、自主的に集団や社会に貢献することができる	他者と協力しながら、集団や社会への貢献に参加することができる	身近な場面で、困っている人を手助けすることができる	・授業のグループワーク ・GS、CS、実習などの現地活動 ・クラブ、学生会、学園祭などの正課外活動 など	・グループワークのふりかえりワークシート ・実習ノートや、教室外プログラムの最終レポート ・チームワークルーブリックで評価された課題 ・学修ポートフォリオ記事 (集団や社会に貢献した経験) など
(3) 多様な文化やその背景を理解し受け入れる能力 (多様性理解)	多様性、公平性、包摂性 (DE&I) の視点を持ち、世界に住まう人々の文化や社会が多様であることを理解を深め、世界市民として行動できる	自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を尊重し、差別などの社会的不正義の解消に乗り出すことができる	自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を尊重しながら、その人々と交流することができる	自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々の社会的・文化的背景を理解し、違いがあることを受け入れることができる	自分とは異なる価値観や考え方を持つ人々がいることを理解し、自分たちとの違いを説明することができる	・多様性を考える授業 ・GS、CS、実習などの教室外プログラム ・留学 ・自分が生きてきた地域とは異なる地域の人々との交流 ・母国以外の人々との交流 など	・多様性理解ルーブリックで評価された課題 ・実習ノートや、教室外プログラムの最終レポート ・学修ポートフォリオ記事 (多様な文化や社会に関する経験や学び) など
(4) 課題発見・解決力	根拠にもとづいて、課題を発見したり解決のアイデアを構想したりする思考力や判断力を身につけ、課題を解決することができる	複雑な課題を分析し、複数の原因を究明して、論理的に整合し解決につながる提案を行い、実行できる	データにもとづいて、課題の原因を見きわめ、論理的な解決策を提案できる	普段から問題がないか注意を払い、解決すべき課題を理解して根拠のある意見を示しつつ、解決のために行動を起こすことができる	社会の中で問題になっていることを客観的に理解し、解決のための意見を出すことができる	・課題発見・解決型の授業、レポート作成、テスト ・GS、CS、演習、実習などの現地活動や調査活動 ・クラブ、学生会、学園祭などの正課外活動で学生同士、教職員、地域の人々、業者との会議	・学修成果の統合ルーブリックを用いた成果物 ・リサーチルーブリックを用いた成果物 ・クリティカルシンキングの課題レポート ・評価された問題発見・解決型の課題レポートやプレゼンテーション
中項目:	課題発見力	複雑な課題を分析し、複数の原因をとらえ、それらの関係を整理することができる	課題の背景や状況を理解し、原因を見きわめることができる	普段から問題がないか注意を払い、何が解決すべき課題なのかを理解することができる	社会の中で問題になっていることを、理解することができる		・到達確認試験の論述問題の評価結果 ・学修ポートフォリオ記事 (問題発見、論理的思考や論理的判断、問題解決のための提案などを行った経験)
	論理的思考/判断力	論理的に整合するように、自らの主張を論証できる	データにもとづいて論理的な意見や判断を導き出すことができる	根拠を示しつつ意見や判断を示すことができる	ものごとを客観的に捉え、事実と意見を区別することができる		
	課題解決力	課題の背景や状況をふまえて、解決につながる提案を行い、実行できる	課題の背景や状況をふまえて、解決策を提案できる	課題の解決のために行動を起こすことができる	社会の問題に対して、自分なりの意見を出すことができる		
(5) コミュニケーション力	国内外を問わず、社会生活の様々な場面で、他者の思いや考えを理解するとともに、自分の考えを的確に表現し、意見を交わすことができる	異なる文化や価値観の人々にも伝わるように表現を工夫しながら、裏づけのある主張を行い意見調整ができる	相手に伝わるように表現を工夫しながら、裏づけのある主張を行い意見調整ができる	多様な方法で情報収集と自己表現ができ、他者との意見交換ができる	決められた条件の中で、情報収集と自己表現ができ、他者と意見の共有ができる	・授業におけるグループワークやディスカッション ・GS、CS、実習などの現地活動でのメンバー、教職員、現地の人々など利害関係者との交流 ・クラブ、学生会、学園祭などの正課外活動で学生同士、教職員、地域の人々、業者等、との会議 ・留学先での交流	・ライティングルーブリックで評価された課題レポート ・プレゼンテーションルーブリックで評価されたプレゼンテーション資料 ・学修ポートフォリオの記事 (国内外を問わず、情報収集、自己表現、意見交換・調整を行った経験)
中項目:	情報収集・活用能力 (読む・聴く・整理する)	必要かつ信頼できる情報を、国内外を問わず広範な情報源から集めることができ、自分の主張やアイデアの裏づけとして活用できる	必要かつ信頼できる情報を自分の主張やアイデアの裏づけとして活用できる	多様な情報源から、必要かつ信頼できる情報を集め、要点を整理できる	与えられた情報源から必要な情報を集めることができる		
	情報発信力 (書く・話す・伝える)	言語的・非言語的な表現方法を活用して知見や考えをわかりやすく表現し、相手とのやりとりを踏まえつつ、理解してもらえるように伝えることができる	言語的・非言語的な表現方法を活用して、内容の構成を工夫しながら、知見や考えが相手にわかりやすく伝えられる	言語的な表現だけでなく、非言語的な表現方法も活用して、決められた条件の中で、知見や考えを表現できる	決められた条件の中で、自分の知見や考えを表現できる		
	意見交換・調整力	異なる文化や価値観の人々と、お互いの価値観を尊重しつつ意見を調整し、互いに納得できる結論を得ることができる	他者の主張を理解して、自分の意見と他者の意見を調整して、互いに納得できる結論を得ることができる	自分の意見に対する他者の発言の論点を理解したうえで、自分の意見を示すことができる	他者の発言を聞いた上で自分の意見を伝えられる		
(6) 専門的知識・技能の活用能力	自ら学ぶ学位プログラムの基礎となる専門的知識・技能を修得し、実際に活用することができる	専門分野について修得した知識・技能を、実際に想定した場面で活用し、適切な行動をとることができる	専門分野について修得した知識・技能を用いて、様々な現象を説明し、評価・改善・提案することができる	専門基礎知識・技能を相互に関連づけ、その概念を使って学んだ内容を説明できる	専門的知識の獲得に必要な文献・資料を正確に理解し、重要かつ基礎的な概念を説明することができる	・専門科目の授業での課題 ・卒業論文の作成 ・GS、CS ・総合型の実習科目や演習科目	・専門科目の評価されたテストやレポート ・到達確認試験の評価結果 ・卒業論文のルーブリック評価 ・総合型の実習科目の実習ノートや演習科目のふりかえりワークシート